

2022年 プログラム近況報告

World Vision

この子を救う。未来を救う。

コンゴ民主共和国 カンボブ地域開発プログラム

地域を代表し、皆さまに感謝いたします



チャイルドや地域に暮らす弱い立場の子どもたちに愛情を注いでいただき、心から感謝します。チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援は、子どもたちの人生に素晴らしい変化をもたらしています。

ムロンゴ・ヌシンバ・パトリック
カンボブ 地域開発プログラムマネージャー

250

地域の農民250人が、グループでの農作物の生産・販売に取り組みました。収穫状況や販売条件の改善、農業収入の向上につながりました。

47

地域ボランティア47人が識字プログラムの研修を受け、子どもたちの読み書きの学習をサポートできるようになりました。

コンゴ民主共和国：日本 出典：国連開発計画（UNDP）2020年

5歳未満児死亡数
(出生1,000人あたり)



2.5

1日1.90米ドル未満で
暮らす人の割合



0.7%

1,000人あたりの18歳
未満の女性の出生数



3.8



「前は字が読めなくて、友達に笑われていました。でも読書クラブの先生が、ゆっくり丁寧に読み書きを教えてくださいましたので、今では字が読めるようになったんです。もう友達にからかわれることもありません。ワールド・ビジョンのおかげです！」

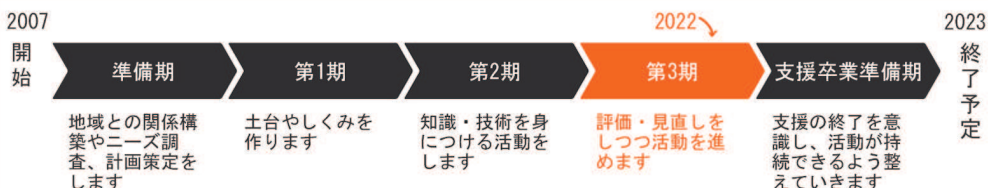
デリッドくん 9歳（右端）

190

貯蓄グループメンバー190人が毎月貯蓄することができています。教育費や医療費などの支払いや将来の予期せぬ支出にも備えられ、経済的な自立につながっています。

6,580

1～3年生の子どもたち6,580人が識字プログラムに参加し、読み書き能力が向上しました。



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「自立して、素敵な服も着られるようになりました」



「父が亡くなってから、生活が苦しくなりました」と語るのは、18歳のユゲットさん（写真左）です。「学校をやめて、採石場で飲み物を売っていました。休みはなく、夜遅くに帰宅しては落ち込む日々でした」

チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援によって、ワールド・ビジョンは地域の団体と協力し、ユゲットさんや彼女と同じような境遇に置かれた若者たちを対象とした職業訓練を実施しました。

そこで裁縫を学んだユゲットさんは、こう話します。「半年間の研修の後、私は自分のお店を開きました。妹と友人を雇って縫製を教えるうちに、どんどん仕事が楽しくなってきました。今では家族のために1ヘクタールの畑を買って、作物を育てています。裁縫を学んだおかげで自立することができて、素敵な服も着られるようになりました」

ご支援により、チャイルドと家族の生活に
大きな変化がもたらされています

コンゴ民主共和国 カンボブ地域開発プログラム（ZAR-185919）

2021年度（2020年10月1日～2021年9月30日）

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	42,131,880
前期からの繰越額	9,883,261
プログラム支援額合計	52,015,141

プログラム支出額	
生計向上プロジェクト	16,647,841
教育・子どもの保護プロジェクト	14,120,043
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	23,598,152
プログラム支出額合計	54,366,036
次期繰越額	(2,345,895)

活動内容

生計向上プロジェクト

- ・ 農家に対する新たな農業技術の研修
- ・ 肥料及び種子の提供
- ・ 貯蓄グループの形成及び運営支援
- ・ 危機管理文書更新の支援

教育・子どもの保護プロジェクト

- ・ 保護者に対する子どもの教育の重要性に関する啓発活動
- ・ 教員に対する識字率向上のための教育方法の研修
- ・ 青少年に対する職業訓練

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- ・ 手紙や成長報告を通したチャイルドとの交流
- ・ チャイルドの定期的なモニタリング
- ・ 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動

お問い合わせ先
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL : 03-5334-5351

Eメール : dservice@worldvision.or.jp
ホームページ : www.worldvision.jp

プログラム番号 : ZAR-185919